

二〇二〇年度 武蔵野東中学校 入学試験

国
語

一 次の①～⑤の―線部の漢字には読み仮名をつけ、⑥～⑩の―線部の仮名は漢字に直して書きなさい。必要に応じて送り仮名もつけなさい。

- ① 夕日が水面に映っている。
- ② 大陸を南北に縦断する道。
- ③ 文脈から類推する。
- ④ 著名人が大勢集まった。
- ⑤ 詩を朗読する。
- ⑥ インガ関係を調べる。
- ⑦ あらためてお電話します。
- ⑧ 妹の意見がシジされる。
- ⑨ 予想がテキチユウする。
- ⑩ 水害をふせぐ工事。

二 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

次の休日に、部活が終わってから、午後、拓は純太と待ち合わせて、町のスポーツ店に向かった。

堤防の道に出て、二人は（A）自転車を走らせた。

「いよいよ、自分のラケットを持つんだね」

隣で純太が、言った。自転車のハンドルを握りながら、純太はうれ

しそうに顔を①ほころばせている。

うんと、拓も笑い返した。（B）する気持ちは、拓も同じだった。

②二人とも、沢田先生と話し合って買うラケットは決めている。沢田

先生から見せてもらったカタログで選んだラケットとラバーの商品を紙に書いてポケットにいられている。

拓は大須賀さんと同じシエークハンドのドライブ主戦型ラケットを

買うことにした。体形もしっかりしているから、ちょっと台から離れてのドライブ攻撃の戦型がいいんじゃないかなと沢田先生から言われた。

「ぼく、ラケット、大事にするよ。瀬倉さんみたいに」

純太が、言った。

（あれ、瀬倉くん、じゃないの？）

拓はふと思った。③今まで瀬倉くんと呼んでいたのに、いつの間にか瀬倉さんと呼ぶようになっていた。そう言えば、純太は、瀬倉くんに教室で習った頃から、やたらと瀬倉くんの真似をするようになった。なんだか最近純太の前髪も瀬倉くんのように伸びてきたような気がする。

今日買おうとしているのも、純太は中国式ペンホルダー型ラケットで、粒高ラバーを貼ると言っている。瀬倉くんと同じ戦型だ。

(幸平くんの場合は、幸平くんのままなのに……)

ふふと、拓は、純太のことがおかしかった。

(確かに、瀬倉くんはラケット大事にしてるよな)

自転車を走らせながら、拓は思った。

瀬倉くんは練習が終わると、必ずラケットの手入れを丁寧にする。粒のすき間にほこりやごみが入っていないか、目を近づけてじっくり見て、時々ハケのようなもので、掃除したり、ふっと息を吹きかけたりしている。ほかの先輩たちはそんなことをしていないから、よっぽどラケットが大事なんだろうなと思う。

「拓はさ、あこがれる人っていない？」

ふいに、純太がそんなことを言った。

「あ？」

拓は純太を見た。

「あこがれ？」

と、④()をかしげた。聞き慣れない言葉だった。

「なんかさ、こうなりたいてって人とか、尊敬できる先輩とか、さ」

純太が、言った。

「あんまし、考えたことないな」

拓は、言った。そんなこと、ほんとに考えたこともなかった。

「おまえ、そんな人、いんの？」

「ぼく、瀬倉さん、あこがれるよなあ」

純太が、ちよつと顔を赤らめて言った。

「ふうん」

拓は、純太を見た。

「いばらないし、静かにしてるけど、ちゃんと自分を持つていうかさ」

へえと、拓は純太を(C)と見つめた。そんなふうには瀬倉くんのことを純太が見ていたなんて驚きだった。というより、この人はこんな人物だなんて考えたことなど、なかった。⑤そんなふうには言える純太が、なんだか自分より大人に見えた。

「拓は？」

と、純太が、聞いてきた。

「そういう人、いない？」

「うーん、そうだなあ」

と、拓はちよつと考えた。純太が真面目に聞いてくるから、答えないわけにはいかないような感じがした。

「まあ、瀬倉くん、いいよな。あと、ま、幸平くんもいいし。大須賀さんもかっこいいかな。あ、岩島さんもちよつと怖いけど、おもしろいし。小山くんも……」

と、しゃべりだしたら、(D)と、純太が笑い出した。

「やっぱり、拓は、そう言うと思ったよ」

まゆ毛を(E)と上げて、純太が拓を見つめていた。そして、

「ぼくも、同感」

とつけ加えた。

「ぼくらってさ、この部に入ってよかったよね」

「ああ？」

「あこがれる先輩たちばかりだ」

純太がうれしそうに言って、ペダルに力を入れた。純太の自転車が、すっと、拓より先に出た。

(あこがれ、か……)

⑥ 拓は、純太の背中をまぶしそうに見つめた。やっぱり、純太の背中が今までより少し大きく見えた気がした。

(横沢彰「どんまい!卓球部」より)

問一 本文中の() A～Eにあてはまる言葉を、次のア～エから一つずつ選び、記号で答えなさい。

ア うきうき	イ ひよっこり	ウ ゆらゆら
エ まじまじ	オ くくく	

問二 — ① 「ほころば」とありますが、基本の形は「ほころぶ」です。

その意味を国語辞典で調べたところ、次の三つの意味が書いてありました。a～cの()にあてはまる言葉を、後のア～エから一つずつ選び、記号で答えなさい。

a () がやわらいで笑う。

b () が解ける。

c () が少し開く。

ア 縫 ^ぬ い目	イ 表情	ウ つぼみ	エ とびら
---------------------	------	-------	-------

問三 — ② 「二人とも、沢田先生と話し合って買うラケットは決めてい」とありますが、拓と純太はそれぞれどういうラケットを買う予定でいますか。それぞれ本文中から、拓の場合は二十字以内、純太の場合は十五字以内で書きぬきなさい。

問四 — ③「今まで瀬倉くんと呼んでいたのに、いつの間にか瀬倉さんと呼ぶようになっていて」とありますが、どうして純太は「瀬倉さん」と呼ぶようになったのでしょうか。その理由を説明した次の文の（ ）ア・イにあてはまる言葉を本文中から探して書きぬきなさい。なお、アは三十字以内（句読点も字数に数えます）、イは四字とします。

・純太が瀬倉君の（ ）ア（ ）ところに（ ）イ（ ）るようになってきたから。

問五 — ④「（ ）をかしげた」とありますが、（ ）にあてはまる言葉を漢字一字で書きなさい。なお、次の二つの例の（ ）にも同じ言葉が入ります。

・（ ）を長くする。
・（ ）が回らない。

問六 — ⑤「そんなふうに見える純太が、なんだか自分より大人に見える」とありますが、それはなぜですか。その理由として最もあてはまるものを次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

ア 純太が前髪を伸ばしている姿が変に大人っぽく見えたから。
イ 純太の外見が先輩たちのように大人っぽくなってきたから。
ウ 純太が他人の内面や長所を理解するようになってきたから。
エ 純太の体が卓球部の活動をとおして大きくなってきたから。

問七 — ⑥「拓は、純太の背中をまぶしそうに見つめた。やっぱり、純太の背中が今までより少し大きく見えた気がした」とありますが、この表現には拓の純太に対するどういう気持ちを感じられますか。解答欄の「純太へ。」という書き出しに続く拓の心の声を、純太への呼びかけの形で書きなさい。

三

次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

(*印がついている言葉には、本文の後に「注」があります。)

君たちは「①科学のようで科学でないもの」に出会った経験はないだろうか？

一見すると科学的だけど、本当に科学と言えるのかどうかは定かではないもの。あるいは、科学的な要素を利用して、別の目的を果たそうとしているもの。――(A)、血液型を想像してみるとわかりやすいかもしれない。君たちは友達と会話をするとき、「血液型は何型？」ということを使役(あひさつ)わりに使ったことはないだろうか？ (B)、その人の血液型が「B型」であるというだけで会話が盛り上がった経験はないだろうか？ (C)、ここで心当たりのある人は、血液型に性格が表れるということに真実性があると感じているのだろうか。(D)、それがどういふメカニズムで * 実証(じっしょう)されるのかと問われれば、きちんと答えられる人はいないはずだ。

(E)、一時期の健康ブームに乗って大流行した「マイナスイオン」というものについても同様のことが言える。この言葉には、いかにも科学的なイメージが漂(ただよ)うため、無条件にその効能を信じてしまう人もたくさんいたようだが、実は科学用語にそんなものは存在しない。こういった項目(こくむく)はすべて「ニセ科学」とでも呼ぶべきものである。

実際、現代の社会には「ニセ科学」が * 蔓延(まんえん)している。科学のふりをするだけで、不合理なことでも堂々とまかりとおってしまっている。こ

れは、②僕(ぼく)のような多少なりとも科学に携(たず)さわる人間にとっては、うかが見過(み)ごせない問題だ。なにより、悪質(あくしつ)な「ニセ科学」によって人生を大きく狂(くる)わせてしまうケースだってあるのだから。

この授業を通じて君たちに伝えたいこと。それは、「科学」と「ニセ科学」の違いを知り、その見極め方を自分の目で養(やし)ってもらうことだ。そのためには、本当の意味での科学的な思考を身につける必要がある。

③ではそもそも「科学」とは何か。

英語で表すと「science」(サイエンス)だが、元々の語源はラテン語の「scientia」(スキエンティア)という言葉に由来する。この「sci」というのは「知る」、「entia」というのは「成す」という意味を表す。

「知るをなす」――すなわち、総合的な知識を得るという意味だ。つまり、「science」という言葉は、本来は自然科学のみを指す言葉ではなく、さまざまな知識を得るという意味で使われていた。もっぱら自然科学のみを意味するようになったのは一九世紀半ば頃になってからである。

したがって、簡単に整理するなら、理論と実証によって客観世界・自然世界の * 普遍的(ふへん)な原理や法則を発見(はっけん)することが「科学」。別の表現をすれば、研究によって獲得(かくとく)し、実験によって確立した知識とも言える。

つまり、研究し、実証するということが科学にとって重要なことなのだ。加えて、科学には、いくつかの満たさねばならない要件がある。

例えば、(F)。これは道理(かみ)に適(あ)っているということ。それから(G)。すなわち筋道(すぢみち)が通っているということ。そして(H)。実験や理論によって証明できるということ。それに(I)。一つの

事例だけに適用できるのではなく、似たような事例、あるいは質の違った事例にも適用できるということが重要である。それから（J）。個人の意向や願望に左右されないということ。自分自身が「こうあってほしい」「絶対こうあるはずだ」と思う気持ちはもちろん大事だが、科学とは本来、そういう個人的な意向や寄贈、願望とは無関係に成立するものなのだ。

それから*懐疑主義の必要性。つまり、*疑義や批判を怠らないということ。実際、科学者というものは疑り深い人種だ。ある結果を示されたとき、それが本当かどうか必ず疑う。疑って疑って、そのうえで納得したときに、初めて「正しい」という言葉に到達する。真理を得るためにはまず疑うことが必要なのである。そして最後に、（K）。誰もが同じように使えるということ。つまり、「どこでも、いつでも、だれでも」が成立して初めて「科学」と言える。

「科学」であるためには、④これらすべての要件を満たしたものでなければならぬ。逆に言えば、これらの要件を満たさないものは科学とは言えない。すなわち、「ニセ科学」に属するのである。

（池内了「考える方法」それは、本当に『科学』なの？」より）

〔注〕 実証…事実によって証明すること。

蔓延…はびこり広がること。流行。

普遍…広く行きわたること。すべてに共通すること。

懐疑…真実かどうか、また価値や意味があるかどうかを考え直してみることに。

疑義…疑問に思われること。疑わしい事から。

問一 — ①「科学のようで科学でないもの」とありますが、それを詳しく説明したひと続きの二文を本文中から探して、その最初の五字を書きぬきなさい。

問二 本文中の（ ）A～Eにあてはまる言葉を、次のア～カから一つずつ選んで、記号で答えなさい。

ア 例えは	イ しかし	ウ ところで
エ あるいは	オ また	カ おそらく

問三 — ②「僕のような多少なりとも科学に携わる人間にとって、う
かか見過ごせない問題だ」とありますが、その理由が書かれてい
る一文を探し、その最初の五字を書きなさい。

問四 — ③「ではそもそも『科学』とは何か」とありますが、

- (1) 科学を英語で表した「science」という言葉の本来の意味を、
本文中から二つ、それぞれ十五字以内で探して書きぬきなさい。
- (2) 科学とはどうすることであると筆者は言っているか。本文中か
ら三十五字で探し、その最初と最後の五字ずつを書きぬきなさい。

問五 本文中の() F、Kにあてはまる言葉を、次のア、カから
一つずつ選んで、記号で答えなさい。

- | | | |
|--------------------------------------|---------------------------------------|------------------------------------|
| ア 普遍性
<small>ふへん
こうゆう</small> | イ 合理性
<small>ごうり
じっしょう</small> | ウ 無私性
<small>むし
ろんり</small> |
| エ 公有性 | オ 実証性 | カ 論理性 |

問六 — ④「これらすべての要件」とありますが、

- (1) これらの要件の中で、問五の解答の選択肢の六つに取り上げら
れなかったものが一つあります。それを本文中から十字以内で書
きぬきなさい。
- (2) これらの要件の中で、あなたが一番重要な要件だと考えたも
のを一つ取り上げ、その理由も書きなさい。

*のらんには何も記入しないこと

氏名

⑥	①
⑦	②
⑧	③
⑨	④
⑩	⑤

二							
問一	問二	問三	問四		問五	問六	問七
A	a	拓	純太	ア	イ		純太へ。
B	b						
C	c						
D							
E							

三							
問一	問二	問三	問四		問五	問六	問七
	A		(1)	(2)	F	(1)	(2)
			.	.	最初		
	B				G		
	C				H		
	D				I		
						最後	
	E				J		
					K		

*

二						
問一	問二	問三	問四		問五	問六
			(1)	(2)	F	(1)
			.	.	最初	
	B				G	
	C				H	
	D				I	
						最後
	E				J	
					K	

*

*

*のらんには何も記入しないこと

15点	一
各2点	各1点
⑥	①
因果	うつ
⑦	②
改め	じゅうだん
⑧	③
支持	るいすい
⑨	④
的中	ちよめい
⑩	⑤
防ぐ	ろうどく

*

40点	二
各2点	各2点
各2点	各2点
各3点	各3点
4点	4点
3点	3点
3点	3点
3点	3点
3点	3点
5点	5点

問七	問六	問五	問四		問三		問二	問一	
長所を理解して目標にするなんて立派なことだよ。ぼくも見習いたいね。 純太へ。いつの間にか君は大人っぽくなったね。あこがれの先輩の内面や	ウ	首	イ	ア		純太	拓	a	A
			あ	、	い	中	シ	イ	ウ
	こ	ち	ば	国	エ	b	B		
	が	や	ら	式	丨	ア	ア		
	れ	ん	な	ペ	ク	c	C		
				と	い	ン	ハ	ウ	エ
				自	し	ホ	ン		D
				分	、	ル	ド		オ
				を	静	ダ	の		E
				持	か	丨	ド		イ
				っ	に	型	ラ		
				て	し	ラ	イ		
			る	て	ケ	ブ			
				る	ツ	主			
				け	ト	戦			
				ど		型			
						ラ			
						ケ			
						ツ			
						ト			

*

45点	三
各2点	各2点
3点	3点
3点	3点
各3点	各3点
3点	3点
3点	3点
5点	5点

問六	問五	問四		問三	問二	問一
(2)	(1)	F	(2)	(1)		科
私「実証性」が一番重要だと思ふ。なぜなら、実験や理論によって証明できることは、多くの人の理解を得ることができると思ふから。	懐	イ	最初	・	・	学
	疑	G	理	さ	総	の
	主	カ	論	ま	合	ふ
	義	H	と	ざ	的	り
	の	オ	実	ま	な	
	必	I	証	な	知	
	要	ア	最後	知	識	
	性	J	見	識	を	
		ウ	す	を	得	
		K	る	得	る	
		エ	こ	る	と	
			と	と	い	
			い	う		
			う	意		
			意	味		
			味			

*